

番 号	23請願第7号 (即 決)
受理年月日	平成23年9月5日
件 名	原発問題の市民生活への影響について
提 出 者	三鷹市在住 土肥 二郎 武蔵野市在住 柴野 明日香 ほか 58人
紹介議員	栗原 健治
要 旨	
<p>〔趣旨〕</p> <p>3月12日、15日、21日に起きました東京電力福島第一発電所の事故を受けて、放出された放射性物質の総量は中央大学武田邦彦先生の試算によると100京ベクレルとされています。これは1億で割ると100億ベクレルに相当します。</p> <p>このことから考えて、我が三鷹市にも相当量の放射性物質が降り注いだと想像するにたたくありません。日々、低線量被曝により命の危険にさらされている子どもたち、女性、妊婦さんたちを守るために、命の大切さ、市民生活の安心安全を保障するために、ぜひとも早急に以下、対応を求めます。</p> <p>〔請願項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 降り注いだ放射性物質により汚染された三鷹市内の農地の計測及び公表 2 汚染された農地で栽培された農作物の放射線量の測定と結果の公表 3 国が定めた暫定基準値を見直し、三鷹市独自の基準値を設ける。 4 市内の公園、広場、緑地、公的施設などのモニタリングの強化（子どもたちが遊ぶであろう植え込みや、排水溝、側溝、雨どいなどを含む。） 5 通学路のモニタリングの強化と除染 6 反原発、脱原発を三鷹市として採択し、全国に先駆けて国への提言を行う。 7 年間1ミリシーベルトの基準を厳守する。 8 1、2、4に関して本来の自然放射線量0.05マイクロシーベルトに戻すまでの除染を速やかに行うこと。 	